

科目名		就職実務 I			
担当教員		広川 智子		実務授業の有無	有
対象学科		建築デザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		就職するうえで就職活動の基礎的な内容、準備作業を理解しておく必要があります。そのために授業では、自己分析から文章作成、業種・職種の情報収集など実践的な内容に取り組みます。就職活動に必要な準備を1人でも行動できるようになることを目指します。 授業の進め方は、講義→レポート（文章化）→分析を繰り返します。課題を3回実施します。			
学習目標（到達目標）		自分を知り、企業を研究して自分に適した業種、職種を見つける。就職活動の流れや準備ができることを目指します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①Success ②配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	就職活動について1 ・就職活動の流れ			近年の就職活動の流れを知る。自分が就職活動で何を準備するのか想像する。	
2	就職活動について2 ・就職活動の心構え			働く意義、企業が求める人材、身だしなみ、挨拶、敬語などを学び、今から準備できることは今から取り組む。	
3	自分について1 ・自分を知る			自分に適した職種・業種を見つけ出すために自分がどんな人間なのかを知る。	
4	自分について2 ・自分の未来を描く 【課題1：自己紹介文を作成して提出】			自分の1年後、5年後、10年後どのようになっているのかイメージする。今の自分が未来をつくることを意識する。	
5	業種・職種について1 ・職業を知る			自分に合う職業について考える。未来の自分を具体的に想像する。また未来を実現するために必要な資格を確認する。	
6	業種・職種について2 ・企業研究・情報収集 【課題2：企業見学前後を含めたレポート提出】			1企業について研究する。企業の特徴を知り、自分の志望動機、自己アピールができるよう研究する。 実際に企業を見学してレポートにまとめる。	
7	採用について ・採用試験の選考内容 【課題3：模擬採用試験の提出】			書類審査、一般常識試験、適正検査、作文、面接など企業による採用試験の種類が色々あることを確認する。自分が何を準備する必要があるのか考える。	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末試験	評価テスト	取組姿勢		就職活動は1年後半から始まります。その時になって慌てることの無いように準備を進めます。まずは自分を知り、未来を想像して取り組んでください。	
50 %	40 %	10 %	%	評価テスト：各課題に関して判断します。 取組姿勢：授業態度、欠席、遅刻など総合的に判断します。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		住宅設計に10年以上従事			